

働くママ

コンサルタントの仕事と家族とのワーク・ライフ・バランス

その名もズバリ、(株)ワーク・ライフ・バランスでコンサルタントをしている大西さん。お仕事の内容は？

「お客様の会社に伺い、限られた時間で高い成果を上げられるようにサポートをしています。」

今は、労働人口が減少している時代です。募集しても人が来ない上に、ベテランが定年を迎えて人が減っています。女性が出産・育児で時間を取られるだけでなく、今や中堅男性も親

(株)ワーク・ライフ・バランス 大西友美子さん



育児は学ぶことがたくさんあります

の介護のために休暇・休業を取るなど、時間に制約を持つ必要がでてきます。これまでは、専業主婦の妻に介護を任せていた人も、共働き家庭が圧倒的に増え、また団塊世代よりもシニア世代の方が兄弟数が少ないことから、男性も介護と仕事を両立するのが当たり前になってきました。そこで会社は、誰もが時間制約を持ちながら働けるよう、環境作りをしないと、存続もできない。つまり経営戦略として考える時代になっています。

「出張は、子ども達が登校する時間に一緒に出て6時台に帰京するようにしています。子どもは中一の男の子と小四の女の子です。上はサッカーをやっている、夫がサッカーに行き、下は私とフラダンスのレッスンなどに行きます。家事は、子どもも含めて分担しています。夫は洗濯、こどもは玄関掃除とご飯炊きを担当。これはごどもが一番上手(笑)。私自身育児を通して学ぶことがたくさんありました。同僚を見ていると、例え、育児休業を取った男性が会社に戻ると、今までにない視点を持つたり、同時に複数の仕事をパルレルにこなしたり、よりレベルアップする気がしますね。」

江東のひと

区内の働くママに仕事と育児について、シニア世代の男性に家庭生活の心がけなどについて伺いました。

「上がる、15名が賛同して団体を立ち上げました。月1回の教室を今まで9回開いています。」

食材やメニューは？

「材料の調達、先生がスーパーと掛け合せて、食材を一括購入し、教室の日の朝に届けてもらうことにしました。メニューは皆のリクエストから先生が決めていますが、教わったあと一回は自宅でも作るよと言われてます。」

ご家庭で喜ばれますか？

「そうですね。ただ、我々はまだ、レシピの材料が1つでも欠

けると思いません。私達の世代の男性は仕事以外の居場所が少なく、教室や趣味の団体に行っても孤立しがちなので、引きこもってしまう。私は「60歳を過ぎた男の社会進出」が必要だと思っています。



教室で調理中 中央が草場光男さん

「材料の調達、先生がスーパーと掛け合せて、食材を一括購入し、教室の日の朝に届けてもらうことにしました。メニューは皆のリクエストから先生が決めていますが、教わったあと一回は自宅でも作るよと言われてます。」

60歳過ぎた男たちの社会進出

ハンジモイニミリアンター

GG.COOK 代表 草場光男さん

皆、孫がいるような世代で結成したため、GG.COOKと名付けました。60歳以上の男性で料理ができない人を募集しています。」

区内企業に見る

ワーク・ライフ・バランスの取り組み

「有給休暇消化率100%体制」

株式会社アオアクア

Q 株式会社アオアクアは平成23年設立。訪問看護、訪問リハビリ、居宅介護支援の業務を、大島ホームから区内各所や墨田・江戸川区に展開していますね。

A 訪問事業というと、ヘルパーさんが在宅回りのイメージですが、私たちが行うのは主に医療行為です。ケアマネジャーは介護保険を取り扱いますが、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士という医療職は医療行為を行っています。この仕事を始めたのは、病院勤めのかたから訪問看護のアルバイトをしている時に、訪問看護の難しさを知り、自分に返ってくるものが大きいと感じたからです。

Q 訪問看護の難しさ、とは。 A 利用者様の家に伺い、看護する場合、病院で行う完全管理ができません。病院看護よりもっとこちら側から、利用者様の生活や人格・人柄に合わせる必要があります。利用者様の事を考え寄り添って相手に合わせていくのが必要です。

Q 訪問看護の難しさ、とは。 A 医療職が休暇を取るのには難しい。しかし会社を運営していくためには、それではいけない。そこで「休暇を取れるシステム」を作ることになりました。まず、社員に休暇の希望を聞き、全体スケジュールと照らし合わせ、勤務シフトを作ります。余裕のある半日や一日の休みが取れるシフトをスタッフみんなで話し合い、何人が、誰が休むか決めます。ここで大事な事は、各スタッフの休暇の情報を、みんなが共有していることです。そこで「休暇グラフ」を作りパソコンで一目瞭然にしています。グ

Q 目標は、有給消化率100% 10年間休日130日+特別休暇の取得ですね。 A 医療職が休暇を取るのには難しい。しかし会社を運営していくためには、それではいけない。そこで「休暇を取れるシステム」を作ることになりました。まず、社員に休暇の希望を聞き、全体スケジュールと照らし合わせ、勤務シフトを作ります。余裕のある半日や一日の休みが取れるシフトをスタッフみんなで話し合い、何人が、誰が休むか決めます。ここで大事な事は、各スタッフの休暇の情報を、みんなが共有していることです。そこで「休暇グラフ」を作りパソコンで一目瞭然にしています。グ

Q 訪問看護の難しさ、とは。 A 利用者様の家に伺い、看護する場合、病院で行う完全管理ができません。病院看護よりもっとこちら側から、利用者様の生活や人格・人柄に合わせる必要があります。利用者様の事を考え寄り添って相手に合わせていくのが必要です。

Q 訪問看護の難しさ、とは。 A 医療職が休暇を取るのには難しい。しかし会社を運営していくためには、それではいけない。そこで「休暇を取れるシステム」を作ることになりました。まず、社員に休暇の希望を聞き、全体スケジュールと照らし合わせ、勤務シフトを作ります。余裕のある半日や一日の休みが取れるシフトをスタッフみんなで話し合い、何人が、誰が休むか決めます。ここで大事な事は、各スタッフの休暇の情報を、みんなが共有していることです。そこで「休暇グラフ」を作りパソコンで一目瞭然にしています。グ

Q 訪問看護の難しさ、とは。 A 医療職が休暇を取るのには難しい。しかし会社を運営していくためには、それではいけない。そこで「休暇を取れるシステム」を作ることになりました。まず、社員に休暇の希望を聞き、全体スケジュールと照らし合わせ、勤務シフトを作ります。余裕のある半日や一日の休みが取れるシフトをスタッフみんなで話し合い、何人が、誰が休むか決めます。ここで大事な事は、各スタッフの休暇の情報を、みんなが共有していることです。そこで「休暇グラフ」を作りパソコンで一目瞭然にしています。グ

Q 訪問看護の難しさ、とは。 A 医療職が休暇を取るのには難しい。しかし会社を運営していくためには、それではいけない。そこで「休暇を取れるシステム」を作ることになりました。まず、社員に休暇の希望を聞き、全体スケジュールと照らし合わせ、勤務シフトを作ります。余裕のある半日や一日の休みが取れるシフトをスタッフみんなで話し合い、何人が、誰が休むか決めます。ここで大事な事は、各スタッフの休暇の情報を、みんなが共有していることです。そこで「休暇グラフ」を作りパソコンで一目瞭然にしています。グ

Q 訪問看護の難しさ、とは。 A 医療職が休暇を取るのには難しい。しかし会社を運営していくためには、それではいけない。そこで「休暇を取れるシステム」を作ることになりました。まず、社員に休暇の希望を聞き、全体スケジュールと照らし合わせ、勤務シフトを作ります。余裕のある半日や一日の休みが取れるシフトをスタッフみんなで話し合い、何人が、誰が休むか決めます。ここで大事な事は、各スタッフの休暇の情報を、みんなが共有していることです。そこで「休暇グラフ」を作りパソコンで一目瞭然にしています。グ

Q 訪問看護の難しさ、とは。 A 医療職が休暇を取るのには難しい。しかし会社を運営していくためには、それではいけない。そこで「休暇を取れるシステム」を作ることになりました。まず、社員に休暇の希望を聞き、全体スケジュールと照らし合わせ、勤務シフトを作ります。余裕のある半日や一日の休みが取れるシフトをスタッフみんなで話し合い、何人が、誰が休むか決めます。ここで大事な事は、各スタッフの休暇の情報を、みんなが共有していることです。そこで「休暇グラフ」を作りパソコンで一目瞭然にしています。グ

Q 訪問看護の難しさ、とは。 A 医療職が休暇を取るのには難しい。しかし会社を運営していくためには、それではいけない。そこで「休暇を取れるシステム」を作ることになりました。まず、社員に休暇の希望を聞き、全体スケジュールと照らし合わせ、勤務シフトを作ります。余裕のある半日や一日の休みが取れるシフトをスタッフみんなで話し合い、何人が、誰が休むか決めます。ここで大事な事は、各スタッフの休暇の情報を、みんなが共有していることです。そこで「休暇グラフ」を作りパソコンで一目瞭然にしています。グ

Q 訪問看護の難しさ、とは。 A 医療職が休暇を取るのには難しい。しかし会社を運営していくためには、それではいけない。そこで「休暇を取れるシステム」を作ることになりました。まず、社員に休暇の希望を聞き、全体スケジュールと照らし合わせ、勤務シフトを作ります。余裕のある半日や一日の休みが取れるシフトをスタッフみんなで話し合い、何人が、誰が休むか決めます。ここで大事な事は、各スタッフの休暇の情報を、みんなが共有していることです。そこで「休暇グラフ」を作りパソコンで一目瞭然にしています。グ



訪問看護の現場 言語聴覚士 平尾健太さん